

第427回 番組審議会

1. 日 時 平成19年12月18日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 10名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	高橋 三男
	委員	帷子 利明
	委員	西郷 喜代子
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二
	委員	増川 博之
	委員	上野 克幸
	委員	清野 雅子

欠席委員	委員	梅村 俊男
	委員	千葉 則茂
	委員	嶋村 正

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役会長)
	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	石井 修平 (専務取締役)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	高橋 甫和 (取締役技術局長)
	千葉 正範 (役員待遇営業局長)

事務局	青山 尚之 (編成局長)
	高橋なおみ (編成局編成部主任)

4. 議 題

1. 今年1年の番組を振り返って
2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・BPO報告
- ・月間民放

6. 議事の概要

社側説明

本日は今年最後の番組審議会ですので、委員の皆様には「今年1年を振り返って」番組に関するご意見をお伺いしたいと思います。

委員側意見

テレビ岩手の1年間の活動のまとめだと思いますが、非常にまじめに丁寧に番組を作っているということが中心だったと思います。丁寧な映像、カメラワーク。感性があるネタ探しも苦勞をされたと思います。総じていうと「ピノキオ」「どこ行こ」「ナビゲーター」「5きげんテレビ」など、継続して放送している番組が評価が高かったと思います。ただし、継続しているから安心して見られるのですが、物足りなさを感じることもありますので、来年は新たな挑戦をしていって欲しいと思います。

また、報道の仕方・在り方、キャスターのコメントの仕方、インタビューの対象者をどうするかなど、報道の根源についても来年以降お考えいただきたい。一年間通して非常に良い番組を制作していただいたと思いますので、来年以降もよろしくお願いをしたいと思います。

社 側

番組審議会のテーマの選び方については、今後吟味して皆様に提案したいと思います。

社 側

報道制作でいうと、「感性をくすぐれ」「本質をえぐれ」「品質にこだわれ」「報道の重さを肝に銘じろ」ということを現場に伝えておりますが、報道は色んな物の見方がありますし報道する重さもありますので、偏った意見ではなく公正中立の立場で伝えるということの基本をしております。高校履修不足問題のときは、高校生よりメールがありまして、コンタクトを取り、インタビューについても本人に了解を取って放送いたしました。無作為に高校生にインタビューしたものではありません。伝えるものに責任と真実を裏づけして放送しました。また、ニュースの特集などは、事前情報を詳細に入れるのは時間的に難しいですが、継続して視聴しているとは限らないので、1つのニュース

で納得していただけるようにしていきたいと思ひます。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における
その公表の内容、方法及び年月日
 - ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」
(平成19年12月25日(火)午前11時50分～11時57分放送)で、審議の概要を放送。
 - ・ 支社・支局に議事録を設置
 - ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。